

透析診療ネットワーク（アクア-D）は、維持血液透析患者を対象とした医療情報データベースを構築するためのネットワークです。

参加施設は、日常診療のデータをデータベース化することにより、診療の実態の見える化や効率的な臨床研究の実施が可能になります。

これは、現場での医療の質の更なる改善につながります。

データベースを作る目的はなに？

透析診療ネットワークは、下記のことを目的としています

1. 診療の質ベンチマーキング

施設・地域ごとの診療の質のばらつきを見える化し、施設にフィードバックする

2. 日常診療のデータの効率的な活用

医療者の現場の疑問に答えるための研究に必要なデータを、負担を少なく活用可能とする

3. 研究成果の発信と医療現場への還元

データベースから臨床研究の成果を発信し、現場に還元する



臨床研究を学ぶ学習コンテンツが豊富！

ネットワークに参加すると、下記に参加できます

- 腎臓・透析診療に関わる医療者のための臨床研究のてらこ屋（多職種 無料 年1回）
京大などの講師陣によるレクチャーや実践的グループワークで学ぶ臨床研究の入門編のワークショップです
- 臨床研究の遠隔学習コンテンツの提供（多職種）
遠隔学習コンテンツ eMAP、eMAP nextを割引価格（半額）で受講できます
- 腎臓・透析医のための臨床研究デザイン塾（医師・年1回）
合宿形式で、本事業データを用いた解析・論文化を目指します
中核拠点*の勤務医師もしくは推薦医師が対象です

診療の質 定期フィードバック

施設・地域間の診療のばらつきをデータから解析し、参加施設にフィードバックレポートをお送りします

透析医学会年末調査データ出力

参加時に導入していただくシステムで、透析医学会調査用のデータにお役立ていただけるcsv出力ができます

*中核拠点とは、地域の複数施設を取りまとめる責任を持つ施設です

対象となるデータ

参加施設には、データ登録のため、AQuAH-DシステムをインストールしたPCを設置します

- 電子データでPCに登録するデータ
 - ・ レセプト
 - ・ 血液検査データ
 - ・ 透析通信システム等の出力データ
- 患者アンケート（年に1回）
QOL（生活の質）、腎臓病に伴う症状
- PC上で手入力するデータ
 - ・ 背景情報（併存症など）
 - ・ 転帰（入院、死亡など）
（データ提出は6か月に1度）



参加施設にご協力いただくこと

下記につき、ご協力をお願いしています

- ・ システム導入前
アンケートへのご回答、サンプルデータのご提供
- ・ システム導入後
同意取得、ノート型PCの設置
登録する電子データの出力とPCへの取込み（1か月毎）
手入力データの登録（随時）
データ提出（6か月毎）、アンケート調査（1年に1回）

個人情報情報を適切に保護しています

- ・ 個人情報情報は、特定の個人を識別できないように匿名化します
- ・ 中央データセンターのセキュリティが確保された環境でデータを扱います
- ・ 患者さまから同意取得を行います

説明会を随時実施します！

参加をご検討いただけるとご施設には、説明会を実施します。下記のお問合せ先にご連絡ください